



国際交流ひろば

9
月号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 236/September 2020

9月・10月に「中国内モンゴル」と「ベトナム」について、文化紹介講座をおこないます。

参加費は無料。小学生以上でしたら、どなたでもご参加いただけます。

お名前・電話番号・年齢をご記入の上、下記メールアドレスまたは、お電話にてお申込みください。

文化紹介講座 中国内モンゴル

9月12日(土)
14:00~15:30
(受付 13:30~)

会場

かごしま県民交流センター
東棟3階 大研修室1

定員

30名(先着順・要予約)
※定員になり次第、締切り。

講師

孟卓然氏
(鹿児島大学留学生)

内モンゴル? モンゴルなの? 中国なの?

そんな内モンゴルについて

鹿児島大学の留学生が紹介します。

あなたの知らない世界をちょっと覗いてみませんか。

10月11日(日)

10:30~12:00

※9月8日(火)申込受付開始

会場

かごしま県民交流センター
東棟5階 絵画研修室

定員

20名(先着順・要予約)
※定員になり次第、締切り。

講師

ブーテウーリエン氏
(鹿児島大学留学生)

ダン・チャイン(Dàn tranh)とは、ベトナムの伝統的な楽器の一つで、日本の琴によく似ています。ダン・チャインなどのベトナム音楽を通して、ベトナムの人々の暮らしや魅力をご紹介します。



ベトナム文化紹介講座 ベトナム伝統楽器「ダン・チャイン」の調べへ

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、講座受講時には以下の行動をお願いいたします。

●手指の消毒 ●マスクの着用 ●体温の測定(37.5℃以上の発熱がないことを確認)

なお、お申込みいただいた講座は、やむを得ず中止や変更になる場合があります。ご了承ください。

[申込み・問合せ先] 公益財団法人鹿児島県国際交流協会

TEL 099-221-6620 URL <https://www.kiaweb.or.jp> Email kia7@kiaweb.or.jp (担当: 酒井)

おやっとなさあ！国際交流員です！

トウ・ジアハン シンガポール出身

ご存じかもしれませんが、シンガポールは2年間の徴兵制度があります。(狡いですが、男性のみです。)もちろん、軍隊の仕事は危険性が高いです。装甲車などの大型車と武器も取り扱っているし、シンガポールの蒸し暑い気候では熱中症のリスクも高いです。危険な仕事ですので、軍事に一番重視されることは「安全」です。

軍隊に入る一日目から、「安全」が強調されています。そして、苦しい9ヶ月間の士官学校の訓練で、「安全」という概念が私の頭に叩き込まれました。今日は安全についての考え方を紹介したいと思います。安全の紹介は、制度と調整の2つに分けました。



【シンガポールの軍事の公式 Facebook】

【制度】

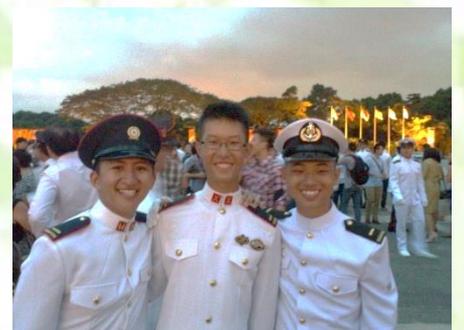
まずは安全を定めている制度です。専門家の研究と経験に基づいて、訓練を決めます。例えば、24キロの行軍をする前には、兵士を慣れさせるため、順番に4・6・8・12・16キロの訓練が必要です。その他、世界で認められる暑さ指数 WBGT (湿球黒球温度) によって、訓練の量が決まっています。この制度はマニュアルに記載されていて、訓練の参考になります。制度に伴い、「安全の文化」も大事です。安全の制度をいい加減に実行せず、きちんと信じること、守ること。それが「安全の文化」の役割です。安全の文化と意識を養うため、シンガポールの軍事は闘志や倫理など、7つの価値観がありました。2013年から、8つ目の価値観ができました。それは「安全」です。

【調整】

しかし、結局、制度は標準的な対応指針を定めたものであります。現実には調整する必要があります。例えば、車の故障で、訓練が中止になります。予想以上の天候不順で、訓練時間が縮まります。そのような場合に備えて、士官は毎回の訓練の前に、リスクアセスメントをします。リスクは2つの条件で判断されます。リスクの危険性と発生の可能性。この2つの条件の判断を合わせて、対策を取ります。例えば、気温が非常に高い日、熱中症になる可能性が高く、危険性も高いです。昼にすべき訓練かもしれませんが、士官は涼しいところ、あるいはより涼しい時間帯の夕方であることを検討します。

もう一つ例を上げると、夜の訓練の準備をする時、士官が現場確認で道が非常に凸凹していることに気づいたとします。そこでは、兵士たちが転ぶ可能性は高いが、危険性はそんなに高くありません。転んでも、恐らく重傷にはならないでしょう。兵士に注意を促し、ブーツの靴紐をきちんと締めるよう伝えれば、十分な対策になると思われれます。

もちろん、より涼しい場所で訓練を行っても、熱中症の可能性はあります。そして、夜の訓練で、だれかが転んで重傷になる可能性もあります。対策は万能ではありません。その上、訓練が甘すぎるなら、万一、戦争が起きた時、準備不足の兵士を出すことも安全性を欠いています。それも考えなければなりません。しかし、実際は現場のリスクをよく考えて、丁寧に対処するようにしています。マニュアルやガイドラインのまま、いい加減にせず、積極的に安全を考えることが重要です。



【私の士官学校の卒業パレード】

※セキュリティのため、この記事に使える写真は限られます。ご理解お願い申し上げます。

鹿児島県から出発した JICA 青年海外協力隊員は現在およそ 900 名。今回はその一人として 2018 年 10 月キルギス共和国へ派遣された、園中秋葉(そのなか・あきは)さんの活動を紹介します。



【キルギス共和国の国旗】

赤地は勇敢さと勇気を、黄色の太陽は平和と豊かさ象徴する。太陽の中に描かれたシン

ボルは、遊牧民の伝統的なテント式家屋の頂部にある構造を表したもので、祖国や宇宙を象徴する。

＼かごんま出身／

～帰ってきた青年海外協力隊員～

派遣国:キルギス×職種:青少年活動

キルギスには「昔、キルギス人と日本人は兄弟で、肉が好きなのはキルギス人となり、魚が好きなのは東に渡って日本人となった。」という言い伝えがあるほど人々は日本に親近感を持つ人が多く、顔も日本人とよく似ている。ロシア語とキルギス語が話されており、人々は季節ごとに違う姿を見せる壮大な山々や大きなイシクル湖に見守られながら、素朴で温かな遊牧民の文化と旧ソ連時代からのロシアの文化が交じる暮らしをしている。



図 1. キルギスの日常風景(馬は生活になくてはならない存在)

配属先は首都ビシュケクからミニバスで東へ6時間半のカラコルという町。カラコル市の小中高の一貫校で英語の授業の補助を中心に活動した。文法や訳読は現地の先生、アクティビティは JICA ボランティアというように役割分担をしながら一緒に授業を行い、

JICA デスク鹿児島からのお知らせ

また他校への出前授業や地域のイベント、お習字や折り紙教室、英語科の先生たち向けのセミナーなど幅広く活動を行った。活動をする中で価値観や考え方の違いに悩んだこともあったが、現地の人と一緒に過ごす日々の中で目の前の小さな変化を共に喜びながら1年半の日々を積み重ねてきた。(※新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により約半年の任期を残して日本へ帰国した。)



図 2. 英語教育の JICA ボランティアの有志で先生たちへセミナーを開催している様子

自分の経験、関わった他の隊員を通し、「人」による支援の大きな可能性を感じた。キルギスのことをより多くの人に知ってもらい、隊員の経験を生かし、これからは違った目線や立場からも国際協力に関わり続けていきたい。



図 3. イベントにて5年生の生徒たちと園中隊員(中央)

ランチタイムトークのご案内

鹿児島県国際交流協会（KIA）では、毎週水・金曜日にランチタイムトークを実施しています。

参加費は無料です。国際交流員と一緒にしゃべりを楽しみませんか？

韓国語ランチタイムトーク

毎週水曜日 12:30～13:15

進行役：金孝真（キム ヒョジン）県国際交流員・韓国出身

場所：かごしま県民交流センター1階 会議室 A（売店前）

定員：当日先着15名 / 事前申込の必要はありません。

*業務上の都合により、中止する場合がありますので、事前にお電話でご確認ください。



ランチタイムイングリッシュ

毎週金曜日 12:00～12:45

進行役：ジョシュア ウェルチュ 県国際交流員・イギリス出身

場所：かごしま県民交流センター1階 会議室 A（売店前）

定員：先着15名まで / 事前の申し込みが必要です。

*次週の申し込み▶▶ 今週の土曜日から次週の水曜日まで。休館日を除く。



〈〈お願い〉〉

①マスクの着用 ②受付での手指消毒 ③受付時の検温 にご協力をお願いします。

（発熱がある場合は、参加をお断りします。）

ランチタイムトークについて

- ・語学を教える授業ではありません。・時間内の出入りは自由ですが、食事はできません。
- ・中国語（火曜日）は、国際交流員が来鹿次第、再開のお知らせをいたします。

【問合せ先】 TEL : 099-221-6620 / FAX : 099-221-6643

外国人総合相談窓口

鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語

鹿児島県国際交流協会

TEL : 070-7662-4541

E-mail : kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも毎月掲載しています。ご自由にダウンロードください。